

# ブレンダー散布機 ライト

## 取扱説明書

### BL-210



#### ブレンダー散布機ライトをご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法是事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。  
必ず、お守り下さい。



#### 危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



#### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



#### 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



株式会社 たいしよー

## ■ 安全に作業をするために

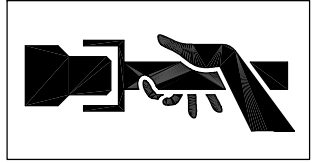


**危険**

P I Cカバーやチェーンカバーを外して使用しない。

### 【守らないと】

機械に巻き込まれて死傷事故になります。



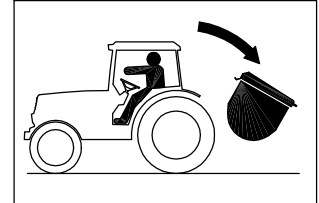
**警告**

散布機の装着が完全であることを確認する。

ご使用になる時は、毎回必ず3点リンクの取付けや、  
抜け止め用のリンチピンが付いているか確認して下さい。

### 【守らないと】

散布機が脱落し、事故をまねく恐れがあります。



**警告**

肥料は絶対に規定量以上は入れないで下さい。

(8ページの肥料投入方法を参照し、肥料に応じて投入量を加減して下さい)

**BL-210 : 最大積載量210kg以下**

### 【守らないと】

シャープピンが切れたり、機械が破損する恐れがあります。  
また、トラクタのバランスを崩して死傷事故を起こす恐れがあります。

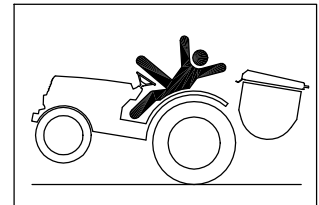


**警告**

散布機装着後、トラクタの前後バランスが悪い時は、  
フロントウェイトを装着して下さい。

### 【守らないと】

バランスを崩し、転倒事故を起こす恐れがあります。



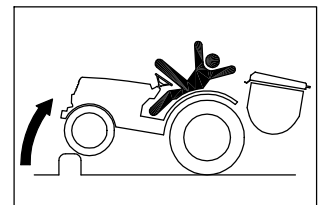
**警告**

散布機装着後のトラクタの運転は慎重にする。

運転時は 道路運送車両法 を順守して下さい。

### 【守らないと】

段差を乗り越える際にトラクタのバランスを損なったり、  
散布機に無理な力が加わり破損する恐れがあります。



**警告**

強風時の蓋開閉や、蓋を開けたままで散布機を上下  
させないで下さい。

### 【守らないと】

不意に蓋が閉まってケガをしたり、散布機およびトラクタが  
破損することがあります。





**警告**

トラクタと散布機の間や、散布機の下には入らないで下さい。

**【守らないと】**

不意に散布機が下がったり、トラクタが動いた時に、死傷事故を起こす恐れがあります。

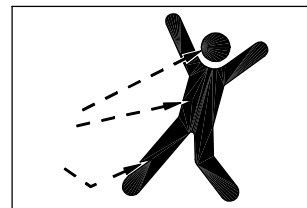


**警告**

散布作業中は機械に近づかないで下さい。

**【守らないと】**

飛散物が当たってケガをすることがあります。

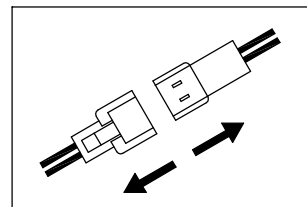


**警告**

保守・点検・清掃の時は必ずトラクタのエンジンを停止し、散布機のコネクタを抜いて下さい。

**【守らないと】**

機械が急に動き出したりしてケガをすることがあります。

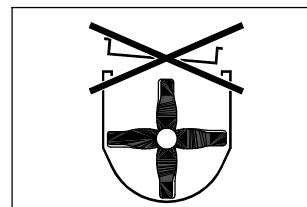


**警告**

ホッパー網を外しての使用は絶対しないで下さい。

**【守らないと】**

混合羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。

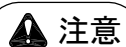
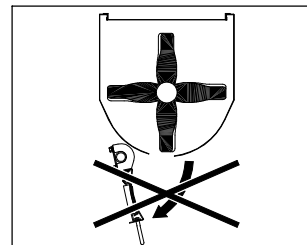


**警告**

底板を開けた状態で混合羽根を回転させないで下さい。

**【守らないと】**

混合羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。

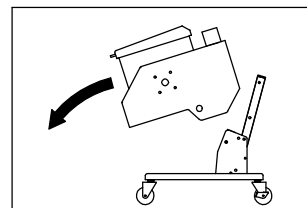


**注意**

散布機の着脱は、固くて平坦な場所で行って下さい。  
また、スタンドの取付けは確実に行って下さい。

**【守らないと】**

本体が落下したりしてケガをすることがあります。



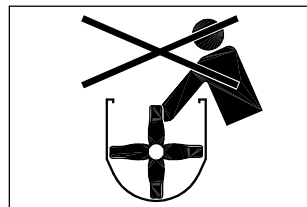


**警告**

エンジン回転中は、ホッパー内に手や棒等を入れないで下さい。

**【守らないと】**

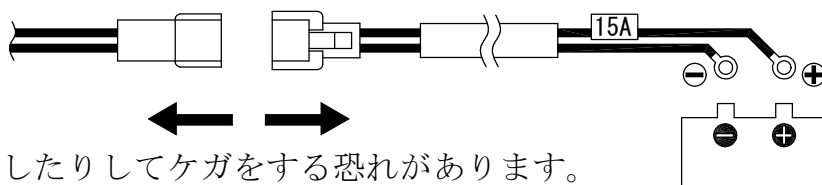
混合羽根に巻き込まれてケガや機械が故障することがあります。



**注意**

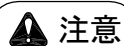
バッテリーへ接続する場合は電源カプラを外して行う。

バッテリー電源延長コードをバッテリーへ接続する場合は、電源カプラを外した状態で行って下さい。



**【守らないと】**

機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。



**注意**

コードは、エンジン等の高温部や舵取り機構等の可動部、板の端部等の鋭端部には取付けない。

**【守らないと】**

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

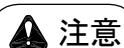


**注意**

散布機を上昇下降させた時、コードが突っ張ったり、緩み過ぎたりしないことを確認する。

**【守らないと】**

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。

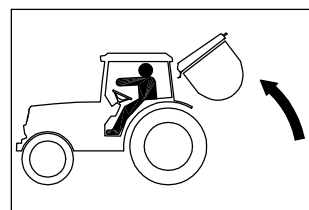


**注意**

散布機を上昇させた時、トラクタに当たらないことを散布作業前に確認する。

**【守らないと】**

散布機およびトラクタが破損することがあります。

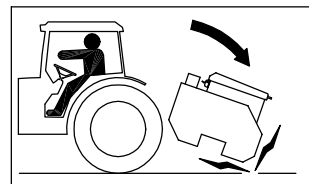


**注意**

散布機を急激に上昇下降させない。

**【守らないと】**

散布機が破損することがあります。



**注意**

散布機を装着したトラクタで一般道路を走行する際は、法令を順守すること。

**【守らないと】**

道路運送車両法に違反します。

**⚠ 注意** 散布機を使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける。

特に、ホッパーへ肥料を投入する際には肥料の吸引を避けられるような服装で行って下さい。

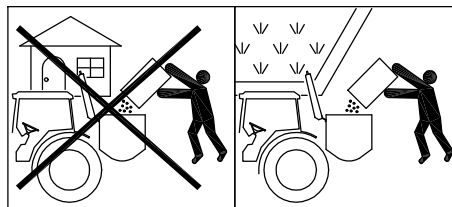
**【守らないと】**

肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。

**⚠ 注意** 肥料は圃場で入れて下さい。また肥料を入れる時は混合羽根を回転させないで下さい。

**【守らないと】**

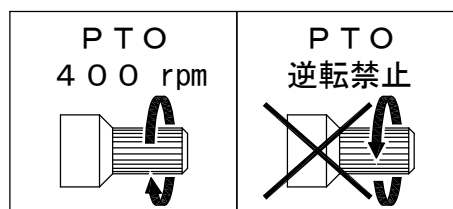
事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



**⚠ 注意** P T Oは400rpmで作業して下さい。  
またP T Oは、逆転させないで下さい。

**【守らないと】**

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。



**⚠ 注意** 機械の改造禁止

散布機を改造して使用しないで下さい。

**【守らないと】**

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

## ■ 使用上の注意

1. 下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい。

- ・ 流れの悪い肥料 ・ ・ ・ 消石灰等の流れの悪い肥料  
(流れが悪い為、散布量が不安定です。)
- ・ 混合すると危険な肥料 ・ ・ ・ 生石灰 等は水分と反応して **発熱** する恐れがあります。
- ・ 湿った肥料 ・ ・ ・ 握った時、固まる位水分を含んでいる肥料  
含水率20%以上の肥料は散布できません。
- ・ 尿素肥料 ・ ・ ・ 吸水性が高く固まりやすいので散布できません
- ・ 貝殻石灰 ・ ・ ・ カキガラ等の貝殻石灰は機械負荷が高く散布できません。

2. 雨天時の散布作業はしないで下さい。

ホッパー内に雨が浸入し肥料が固まったり、肥料が詰まったりします。

3. 作業終了後は、ホッパー内の肥料を完全に排出して下さい。

## ■ 取扱上の注意

- (1) バッテリーへの電源接続は間違えないように ⊕ ⊖ を正しく接続して下さい。
- (2) 肥料の補給は必ずエンジンおよび散布機の電源スイッチを切ってから行って下さい。
- (3) 蓋を開けた時は、蓋が不意に閉じないよう必ず蓋ストッパーでロックして下さい。  
(ロック方法は、8 ページの肥料投入方法の項参照。)
- (4) 肥料の投入は必ず圃場で行って下さい。  
( 肥料を入れたまま 散布せずに長時間 <15 分以上> 走行すると、肥料が固く締まってシャープピンが切れる ことがありますので注意して下さい。 )
- (5) ホッパー網に勢いよく肥料を載せないで下さい。網が変形してしまいます。
- (6) 規定以上の肥料は入れないで下さい。肥料が溢れたり、シャープピンが切れたりします。
- (7) 肥料混合作業時は蓋を閉じて下さい。
- (8) P T O の回転は 4 0 0 rpm で作業して下さい。
- (9) シャープピンが切れた場合は、付属のシャープピンに交換し、過負荷の原因（異物混入や肥料の入れ過ぎ、P T O の高速回転等）を取り除いてから作業を再開して下さい。
- (10) 散布量調整は、シャッターが閉じていて電源スイッチが O F F の状態で行って下さい。
- (11) トラクタの走行速度は、時速 8 k m 以下 を厳守して下さい。
- (12) ヒューズが切れた場合は、ショートまたは過負荷の原因（シャッターへの肥料の付着等）を取り除いてからヒューズを交換して下さい。 また、ヒューズは必ず指定のものを使用して下さい。（10 A 平型ヒューズ）
- (13) シーズンの作業が終わったら、ホッパーやシャッターに付着した肥料をよく洗い落として下さい。（洗浄後よく乾燥させて下さい。）
- (14) 保管は屋内で行って下さい。特に電気系統に水がかからないように注意して下さい。
- (15) 肥料は210kg以上入れないで下さい。

## ■ 組立手順

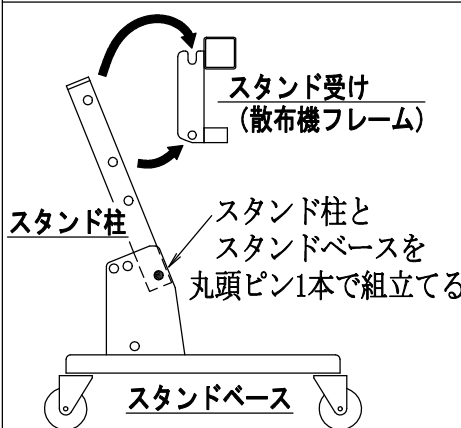
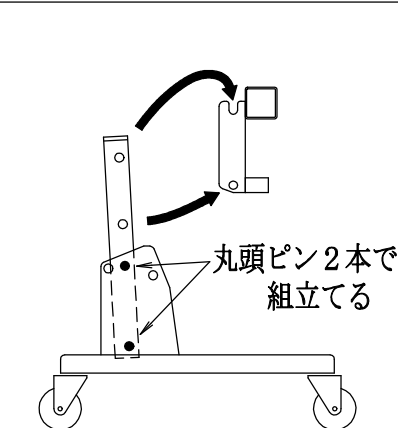
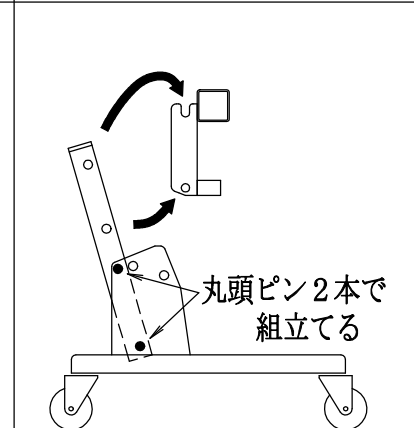
### A. トラクタへの装着

※肥料を入れたまま、スタンドを使用しないで下さい。

※散布機の着脱は、固くて平坦な場所で行って下さい。

※スタンドで移動する時は、段差のある所や悪路では無理に押ししたりしないで下さい。

・ 散布機のスタンドは、散布機の装着型式に合わせた状態でお使い下さい。

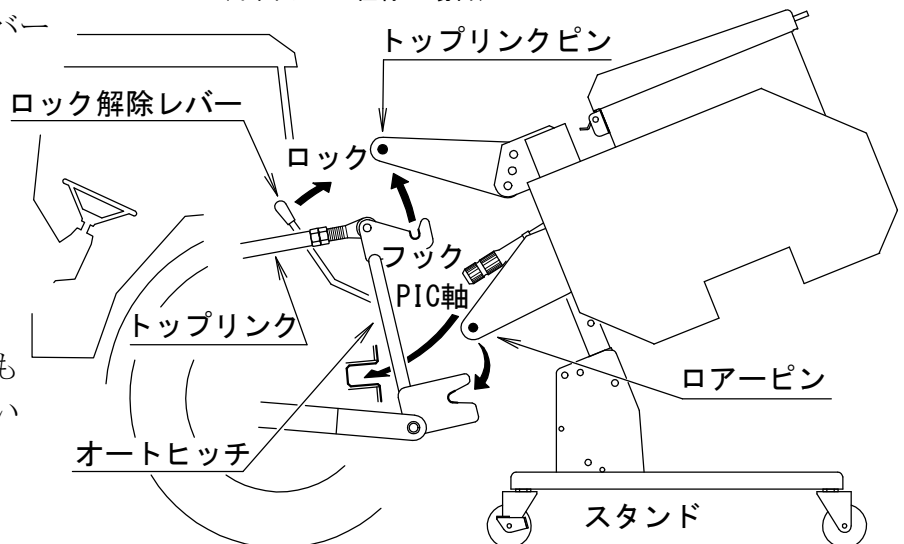
0 S	1 S	A 1, A 2, B, BM
		

## オートヒッチ装着（OS, A1, A2, B, BM仕様）の場合

（下図はOS仕様の場合）

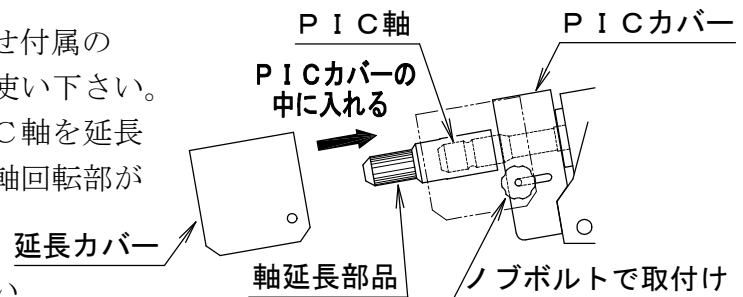
- (1) オートヒッチのロック解除レバーをロック側に倒しておきます。  
自動ロック機構でない場合は、装着後にロックして下さい。

- (2) オートヒッチ上部のフックで散布機のトップリンクピンをすくい上げます。  
自動的にロアーピンとPIC軸も結合します。うまく結合できない場合は、トップリンクの長さを調整して下さい。



- (3) 左右のロアーピンが確実にロックされていることを確認して下さい。

- (4) OS仕様の場合、オートヒッチに合わせ付属のガイドカラーとトップリンクカラーをお使い下さい。  
またOS仕様の場合、他部品にてPIC軸を延長した時は、付属の延長カバーを取付け、軸回転部が隠れるようにして下さい。

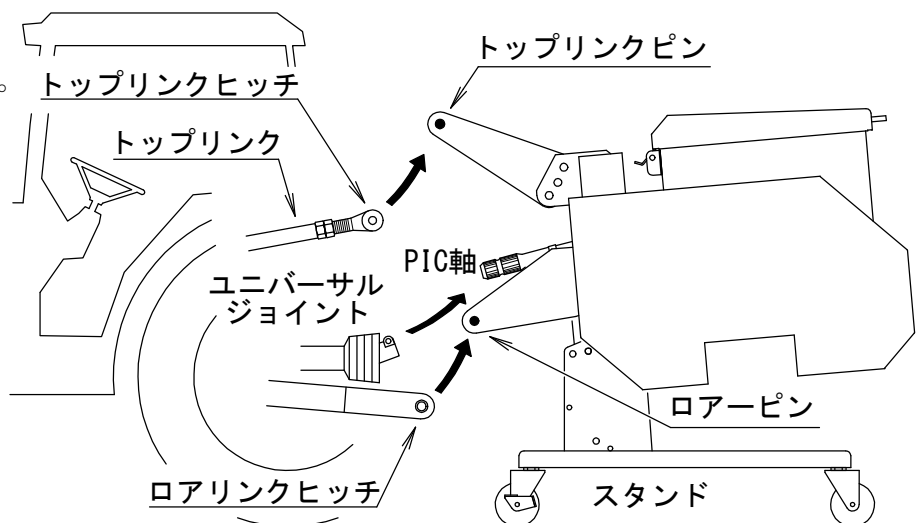


- (5) 散布機装着後、スタンドを外して下さい。

## 手動装着（1S仕様）の場合

- (1) 左右のロアリンクヒッチにロアーピンを通して取付けます。

- (2) トップリンクの長さを変えたりしながら、トップリンクヒッチにトップリンクピンを通して取付けます。  
抜け止めの為、トップリンクピンと左右のロアーピンにリンチピンを取付けます。



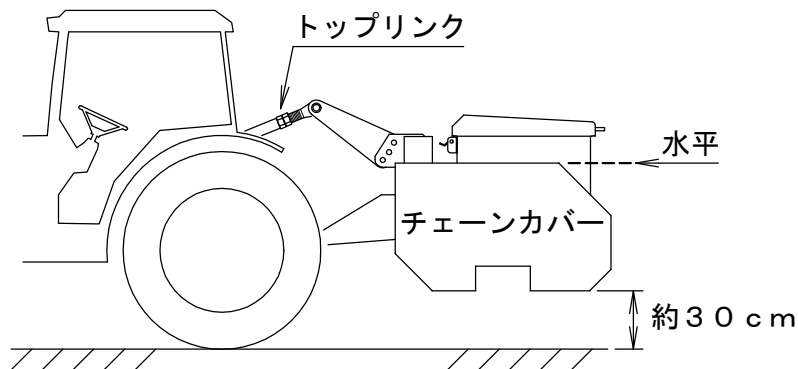
- (3) PIC軸にユニバーサルジョイントを取付けます。  
ユニバーサルジョイントが長い場合は、適当な長さに切ってお使い下さい。  
（ユニバーサルジョイントの取説に記載）

- (4) ジョイントカバーが回転しないよう、付属のチェーンを散布機またはトラクタに取付けて下さい。

- (5) 散布機装着後、スタンドを外して下さい。

## B. 姿勢調整

- (1) 散布機を上昇させた時、トラクタのキャビンやボディに当たらないことを確認して下さい。  
当たる時は、3点リンクの高さ規制をして下さい。
- (2) 散布機を上昇させた時、ユニバーサルジョイントの外れがないことを確認して下さい。
- (3) 作業時にチェーンカバーを引きずらないような高さ（地上高約30cm）で水平姿勢になるよう、トラクタの油圧上下やトップリンクの長さを調整して下さい。
- (4) 散布機が横揺れし過ぎないように、左右のチェックチェーンを適度に張って下さい。

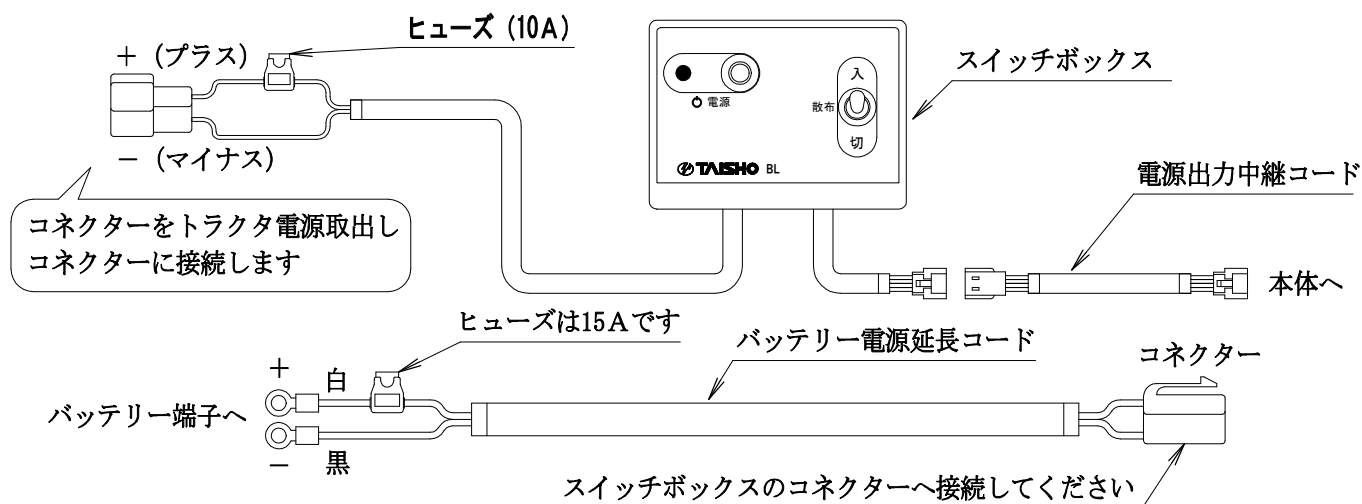


## C. 配線およびスイッチボックスの取り付け

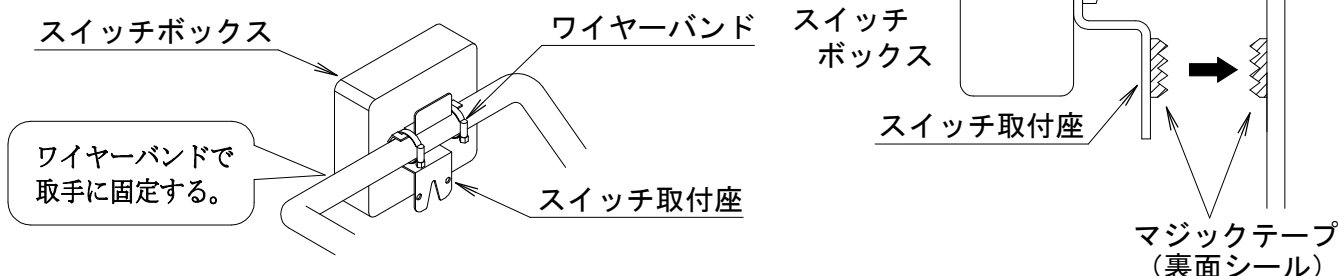
- (1) スwitchボックスから出ている電源ケーブルのコンネクターをトラクタの電源取だしコンネクターに接続します。

※トラクタ電源取だしコンネクターが無い場合、付属の延長コードをお使い下さい。

※バッテリーの接続は確実に行って下さい。接続が悪いと動作不良の原因となります。

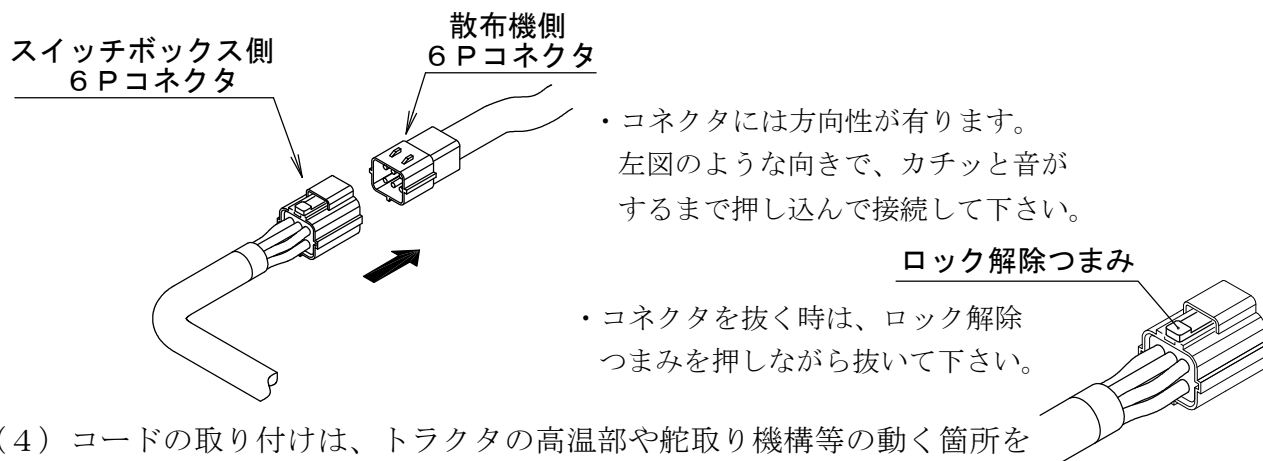


- (2) スwitchボックスを運転席の操作し易い所に取り付けて下さい。  
トラクタのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。  
また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に  
取り付けて下さい。





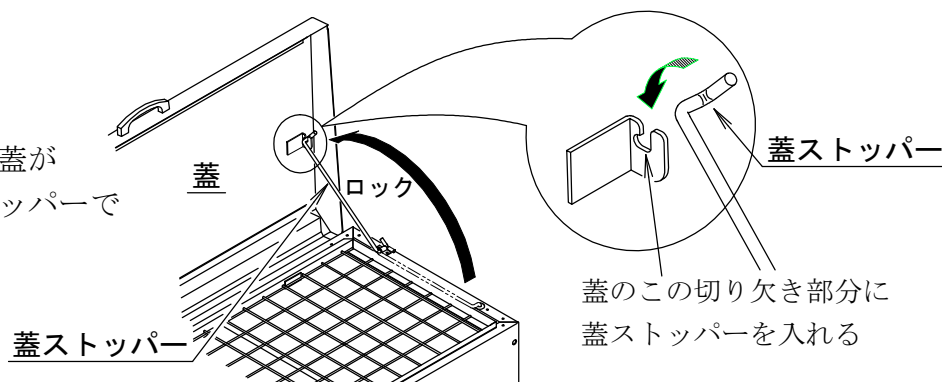
- (3) 散布機をトラクタに装着後、スイッチボックスの6 Pコネクタを散布機の6 Pコネクタに接続します。



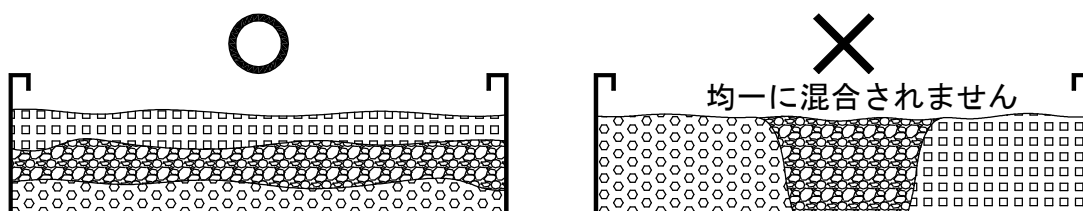
- (4) コードの取り付けは、トラクタの高温部や舵取り機構等の動く箇所を避けて取り付けて下さい。また、散布機を上下させた時にコードが突っ張ったり、緩み過ぎてタイヤに巻き込まれたりしないような長さで固定して下さい。

## ■ 肥料投入方法

- (1) 蓋を開け、不意に蓋が閉じないよう蓋ストッパーでロックして下さい。

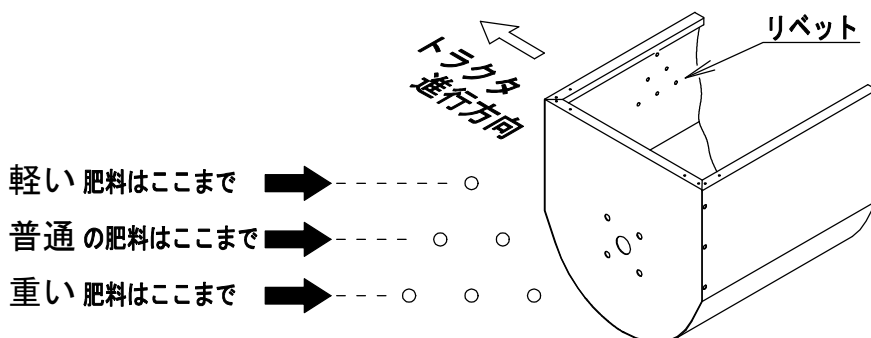


- (2) シャッターが閉じていることを確認してから肥料を投入して下さい。  
その際、ホッパー網に勢いよく肥料を載せないで下さい。
- (3) 混合すると危険な肥料(生石灰等)や湿った肥料(握って固まるもの)は使用しないで下さい。使用する肥料はそれぞれの取扱注意を良く読んでから使用して下さい。
- (4) 肥料を入れる時は、混合羽根を回転させないで下さい。
- (5) 数種類の肥料をホッパーに入れる時、上下の層になるように入れて下さい。  
左右に分けて入れると、均一に混合されません。



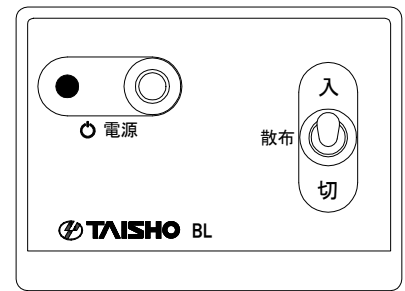
- (6) 肥料は絶対に規定量(最大積載量：210kg) 以上は入れないで下さい。  
ホッパーに取付けてあるリベットを目安に投入量を加減して下さい。

軽い肥料	米ぬか 油粕 乾燥堆肥 など
普通の肥料	粒状化成 粒有機ペレット けいふん など
重い肥料	ようりん ケイカル など



## ■ 操作説明（スイッチボックス）

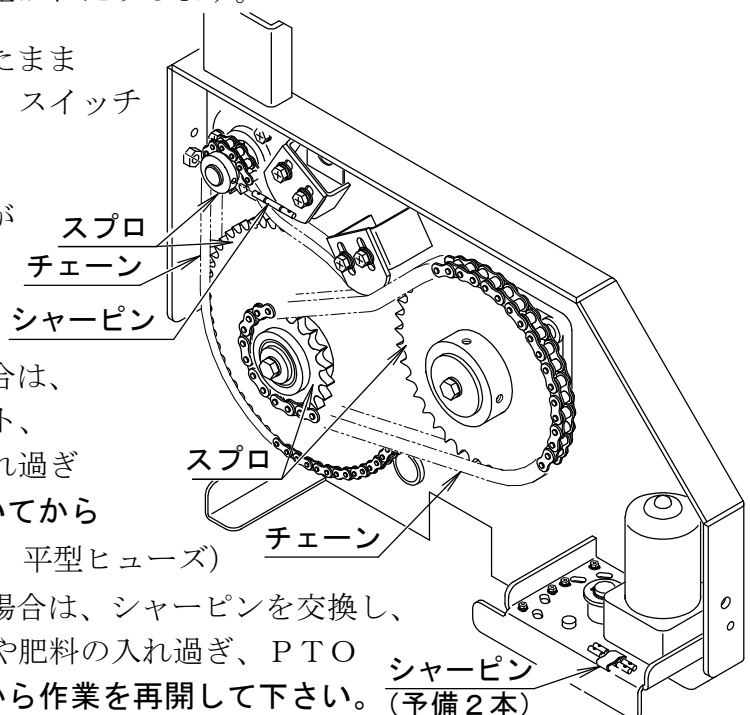
- (1) スwitchボックスの電源スイッチをONにします。  
(スイッチボックスの電源ランプが点灯します。)
- (2) 肥料の散布および停止は電源スイッチをONにしたまま、  
散布スイッチのON/OFFによって行います。
- (3) 散布スイッチをONにするとモーターが回転（約2秒）し、シャッター（目盛り板も  
一緒に）が開方向（トラクタ進行方向を向いて右側）に移動し、肥料の散布が開始されます。
- (4) 散布スイッチをOFFにするとモーターが逆転（約2秒）し、シャッターが開方向  
(左方向) に移動して肥料の散布が停止します。
- (5) 作業が終了したら電源スイッチをOFFにして下さい。（電源ランプが消えます。）  
(シャッターが閉じる前に電源スイッチをOFFにすると、シャッターが開いたまま肥料が  
停止されない状態になりますので注意して下さい。)



※バッテリーの ⊕ ⊖ を逆に接続すると、電源スイッチをONにしても電源ランプは点灯しません。また、散布スイッチをONにするとヒューズが切れたり、OFFにしてもシャッターが閉じないことがあります。

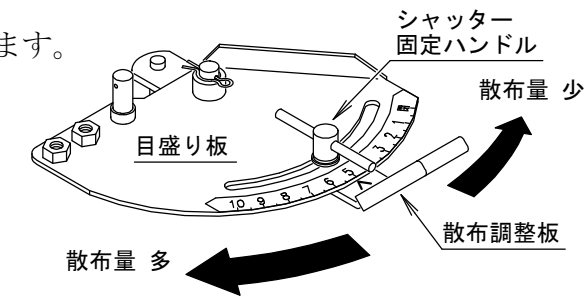
## ■ 散布作業

- (1) 散布目盛りを設定します。(P.10 参照)
- (2) ホッパーへの肥料投入後、PTO回転を徐々に上げ、混合羽根を回転させて肥料を  
混合します。(PTO回転：約400rpm)
- (3) 1分程で大体の混合を確認してから散布作業を始めます。  
散布前の混合は2分以上しないで下さい。 散布せずに長時間混合すると、肥料が  
砕けたり、固まってシャッター穴が塞がれたりします。
- (4) 散布作業は、混合羽根を回転させたまま  
行います。肥料の繰り出し・停止は、スitch  
ボックスの散布スitchで行います。
- (5) 散布作業中や走行中は散布機下部が  
地面に当たらないようなスピードに  
して下さい。(時速8Km以下)
- (6) 散布作業中にヒューズが切れた場合は、  
**その原因** (コード圧迫によるショート、  
ホッパー内への異物混入や肥料の入れ過ぎ  
によるモーター過負荷等) **を取り除いてから**  
**ヒューズを交換して下さい。**(10A 平型ヒューズ)
- (7) 散布作業中にシャープインが切れた場合は、シャープインを交換し、  
**その原因** (ホッパー内への異物混入や肥料の入れ過ぎ、PTO  
回転数の上げ過ぎ等) **を取り除いてから作業を再開して下さい。**(予備2本)  
(予備シャープイン 2本付属) 15ページのシャープイン交換手順の項参照。



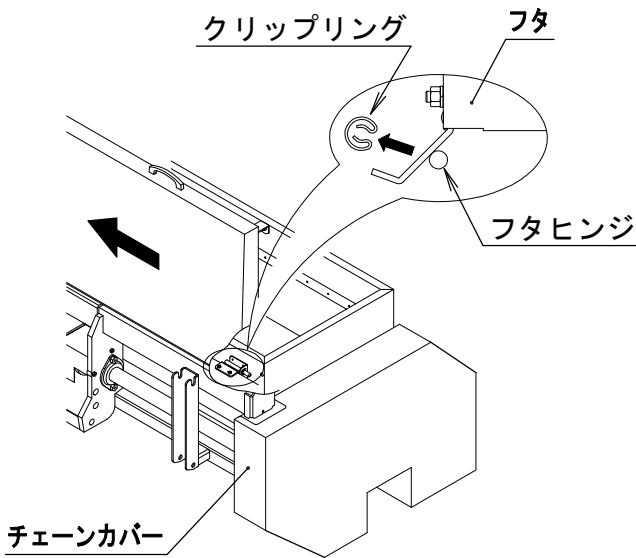
■ 散布量の調整方法

- (1) 散布量の調整は、必ずシャッターが閉じていて電源スイッチがOFFの状態で行ってください。
- (2) 散布量の調整は、散布調整板で行います。
- (3) シャッター固定ハンドルを緩め、レバーに刻印されているV字の中央を、目盛りの数字に合わせて下さい。  
目盛りの数字が大きくなる方が多く散布されます。  
(目盛りは散布量目盛りの決め方の項をご覧ください。)
- (4) 作業中にレバーが動かないよう、シャッター固定ハンドルをしっかりと締めて下さい。



■ フタの取り外し方

- (1) フタを閉じた状態で、フタヒンジからクリップリングをペンチ等を使って引き抜いて下さい。(右図参照)
  - (2) フタを開けて、矢印の方向(従動側方向)にスライドして下さい。
- ※フタは大変重くなっております。  
気を付けて持ってください。
- (3) 取り付けは逆の手順で行ってください。



■ 散布目盛りの決め方

A. 散布表を用いない方法

- (1) 表1から10アール当たりの作業時間(分)を求めます。

表1 10アール当たりの作業時間 [分]

(例) 車速が 4 [Km/h]の場合、BL-210での作業時間は 11 [分]となります。  
(ターン等の時間は含んでおりません。)

車 速 [Km/h]		1	2	2.5	3	3.5	4	5	6	7	8
型 式	BL-210	43分	21	17	14	12	11	9	7	6	5

- (2) 10アール当たりの散布する肥料を前記作業時間(分)で割って、1分間当たりの散布量を求めます。  
(例) 作業時間が 11 [分]で、希望散布量が 110 [Kg]の場合、  
1分間当たりの散布量は、 $110 \div 11 = 10.0$  [Kg] となります。
- (3) 地面に敷いたシートの上に肥料を1分間散布し、その肥料を集めて重さを量り、前記1分間当たりの散布量と同じになるよう、散布目盛りを変えて何回か繰り返し散布目盛りを決定します。

## B. 散布表を用いる方法

※肥料の形状、比重、湿り具合等によって散布量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ずテスト散布後に目盛りを決めて下さい。

※混合肥料の場合は、混合比率の1番多い肥料の散布目盛表を目安にして下さい。

※散布目盛りは、P T O回転が 4 0 0 r p m 時での値となっています。

- (1) 散布する肥料に合った表（表2～6）を使い、トラクタの作業速度（車速）と希望の散布量（10アール当たり）から散布目盛りを決定して下さい。

**表2 散布目盛り（粒状肥料用）**

（例）トラクターの車速が 4 [Km/h] で、散布する肥料の量が 120 [Kg] の場合、

目盛りは 4.1 となります。

参考肥料：水戸野菜専用

粒状肥料用		10アール当たりの散布量												
		50 Kg	70 Kg	90 Kg	110 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	210 Kg	270 Kg	360 Kg	450 Kg	530 Kg
トラクターの車速 [Km/h]	8.0	4.0	4.3	4.5	4.7	4.9	5.0	5.2	5.3	5.5	5.9	6.4	7.0	7.5
	7.0	—	4.1	4.4	4.6	4.7	4.9	5.0	5.1	5.4	5.7	6.1	6.6	7.1
	6.0	—	4.0	4.2	4.4	4.6	4.7	4.9	5.0	5.2	5.5	5.9	6.3	6.7
	5.0	—	—	4.0	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7	4.9	5.2	5.6	5.9	6.3
	4.0	—	—	—	4.0	4.1	4.3	4.4	4.5	4.7	5.0	5.3	5.6	5.9
	3.5	—	—	—	—	4.0	4.1	4.3	4.4	4.6	4.8	5.1	5.4	5.7
	3.0	—	—	—	—	—	4.0	4.1	4.2	4.4	4.6	5.0	5.2	5.5
	2.5	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2	4.5	4.7	5.0	5.2
	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2	4.5	4.8	5.0
	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2

**表3 散布目盛り（ケイカル、ヨウリン用）**

（例）トラクターの車速が 4 [Km/h] で、散布する肥料の量が 140 [Kg] の場合、

目盛りは 3.6 となります。

参考肥料：鹿島 ケイカル1号（砂状）

ケイカル ヨウリン用		10アール当たりの散布量									
		50 Kg	70 Kg	90 Kg	110 Kg	120 Kg	140 Kg	180 Kg	210 Kg	270 Kg	360 Kg
トラクターの車速 [Km/h]	8.0	3.4	3.6	3.7	3.9	4.1	4.2	4.5	4.7	5.0	5.4
	7.0	3.3	3.5	3.6	3.8	3.9	4.1	4.3	4.5	4.8	5.2
	6.0	3.2	3.4	3.5	3.6	3.8	3.9	4.2	4.4	4.6	5.0
	5.0	3.1	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.9	4.1	4.4	4.7
	4.0	2.9	3.1	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.9	4.1	4.5
	3.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.8	4.0	4.3
	3.0	2.7	2.9	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.8	4.2
	2.5	2.6	2.8	2.9	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.7	3.9
	2.0	2.5	2.6	2.8	2.9	3.0	3.1	3.3	3.4	3.5	3.7
	1.0	—	—	—	2.5	2.6	2.6	2.8	2.9	3.1	3.3

表4 散布目盛り（けいふん用）

（例）トラクターの車速が 4 [Km/h] で、散布する肥料の量が 160 [Kg] の場合、  
目盛りは 6.3 となります。 参考肥料：くみあい 粒状醗酵けいふん

けいふん用		10アール当たりの散布量												
		90 Kg	110 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	200 Kg	210 Kg	270 Kg	300 Kg	360 Kg	450 Kg	530 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	6.4	6.7	7.0	7.2	7.4	7.6	7.7	7.9	8.4	8.7	9.2	—	—
	7.0	6.3	6.5	6.8	7.0	7.2	7.4	7.5	7.7	8.1	8.3	8.8	9.5	—
	6.0	6.1	6.3	6.5	6.7	6.9	7.1	7.3	7.4	7.8	8.0	8.4	9.1	9.7
	5.0	—	6.1	6.3	6.4	6.6	6.8	6.9	7.1	7.5	7.7	7.9	8.5	9.0
	4.0	—	—	6.0	6.2	6.3	6.4	6.6	6.7	7.1	7.3	7.6	8.0	8.4
	3.5	—	—	—	6.0	6.1	6.3	6.4	6.5	6.9	7.1	7.4	7.7	8.1
	3.0	—	—	—	—	6.0	6.1	6.2	6.3	6.6	6.8	7.1	7.5	7.8
	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1	6.2	6.4	6.8	7.1
	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6.1

表5 散布目盛り（ペレット用）

（例）トラクターの車速が 4 [Km/h] で、散布する肥料の量が 120 [Kg] の場合、  
目盛りは 4.7 となります。 参考肥料：根菜専用 808（直径 4mm×6mm）

ペレット用		10アール当たりの散布量												
		50 Kg	70 Kg	90 Kg	110 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	210 Kg	270 Kg	300 Kg	360 Kg	450 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	4.5	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0	6.3	6.8	7.1	7.5	8.2
	7.0	4.4	4.7	4.9	5.1	5.2	5.4	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	7.2	7.7
	6.0	4.2	4.5	4.7	4.9	5.1	5.2	5.4	5.5	5.8	6.2	6.5	6.8	7.3
	5.0	4.0	4.3	4.6	4.7	4.9	5.0	5.1	5.3	5.5	5.9	6.1	6.4	6.9
	4.0	—	4.1	4.3	4.5	4.7	4.8	4.9	5.0	5.2	5.5	5.7	6.0	6.4
	3.5	—	4.0	4.2	4.4	4.5	4.7	4.8	4.9	5.1	5.3	5.5	5.8	6.2
	3.0	—	—	4.0	4.2	4.4	4.5	4.6	4.7	4.9	5.1	5.3	5.5	5.9
	2.0	—	—	—	—	4.0	4.1	4.2	4.3	4.5	4.7	4.9	5.0	5.3
	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.0	4.2	4.3	4.6

表6 散布目盛り（菜種油粕用）

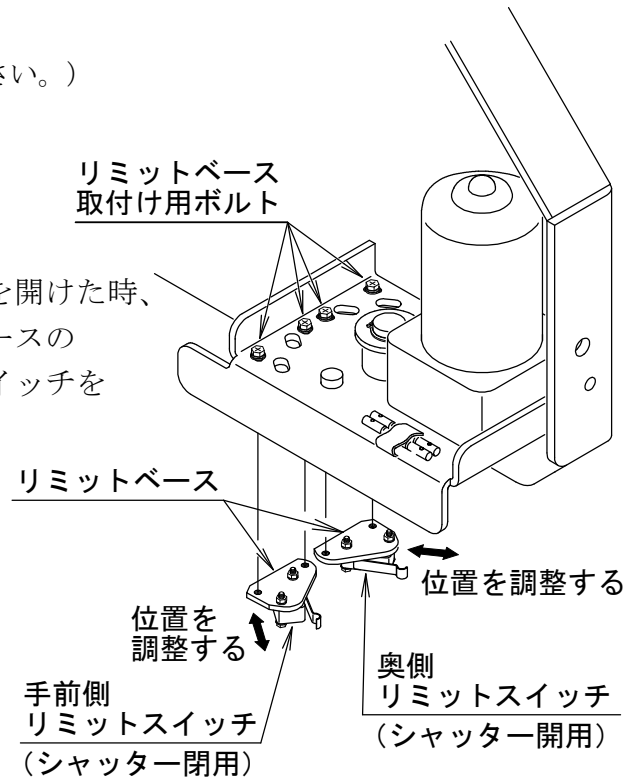
（例）トラクターの車速が 6 [Km/h] で、散布する肥料の量が 200 [Kg] の場合、  
目盛りは 5.7 となります。 参考肥料：昭和産業 菜種油粕

菜種油粕用		10アール当たりの散布量												
		90 Kg	110 Kg	120 Kg	140 Kg	160 Kg	180 Kg	200 Kg	210 Kg	230 Kg	270 Kg	300 Kg	360 Kg	450 Kg
トラクター の車速 [Km/h]	8.0	5.0	5.2	5.4	5.7	5.9	6.1	6.4	6.6	6.8	7.1	7.4	7.9	8.7
	7.0	—	5.1	5.2	5.4	5.6	5.8	6.1	6.3	6.4	6.8	7.1	7.5	8.2
	6.0	—	—	5.1	5.2	5.4	5.5	5.7	5.9	6.1	6.4	6.7	7.1	7.7
	5.0	—	—	—	5.0	5.1	5.2	5.4	5.5	5.7	6.0	6.3	6.6	7.2
	4.0	—	—	—	—	5.0	5.0	5.1	5.2	5.3	5.5	5.8	6.1	6.6
	3.5	—	—	—	—	—	—	5.0	5.1	5.1	5.3	5.5	5.8	6.3
	3.0	—	—	—	—	—	—	—	5.0	5.0	5.1	5.3	5.5	6.0
	2.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.0	5.2

## ■ シャッター開度の調整方法

(シャッター穴の開度がずれてきた時に行ってください。)

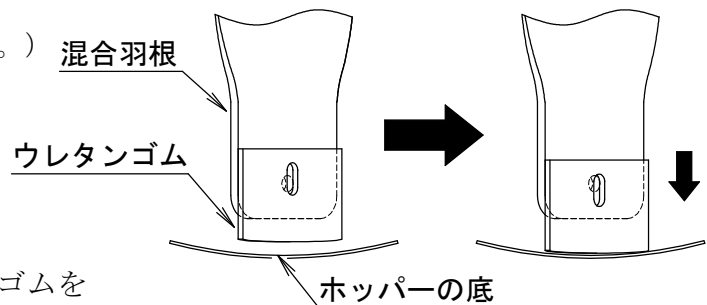
- (1) チェーンカバーを外します。
- (2) 散布調整板を目盛り10に合わせます。
- (3) 散布スイッチをONにしてシャッターを開けた時、穴の開度が全開になるよう、リミットベースの取付けボルトを緩め、奥側のリミットスイッチをリミットベースごと位置調整します。
- (4) 散布スイッチをOFFにしてシャッターを閉じた時、穴の開度が全閉になるよう、リミットベースの取付けボルトを緩め、手前側のリミットスイッチをリミットベースごと位置調整します。



## ■ ウレタンゴムの調整

(肥料が落ちにくくなった場合に行ってください。)

- (1) トラクタのエンジンを停止し、PTOのギアをN (ニュートラル) に入れて下さい。
- (2) 混合羽根に取り付いているウレタンゴムをホッパーの底に軽く触るくらいに調整して下さい。

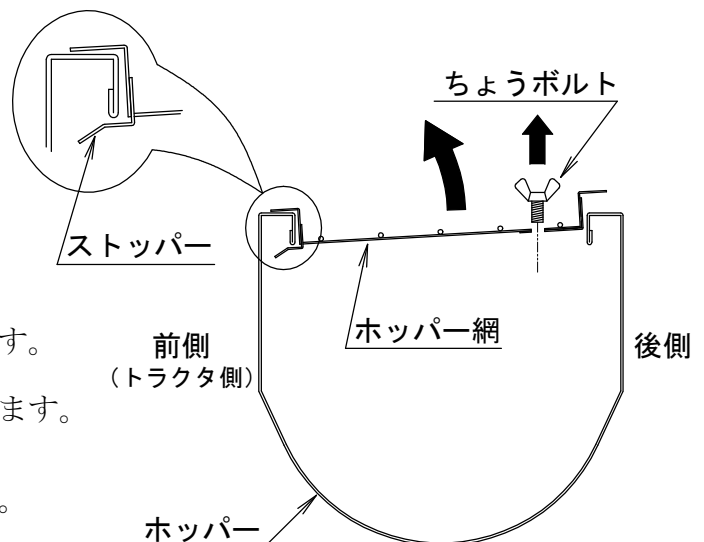


- (3) 手で混合羽根を1回転させた時、ウレタンゴムがホッパー内壁や底に擦るような箇所がある時は、ウレタンゴムを少し引っ込めて下さい。

## ■ ホッパー網の取外し

ホッパー網は、残量肥料排出や手入れの時以外は外さないで下さい。

- (1) エンジンを停止し、PTOのギアをN (ニュートラル) に入れて下さい。
- (2) 網を止めているちょうボルトを外します。
- (3) 網の後側を持ち上げるようにして外します。  
網の前側にはストッパーが付いていて、ホッパーの折端部に引っ掛かっています。

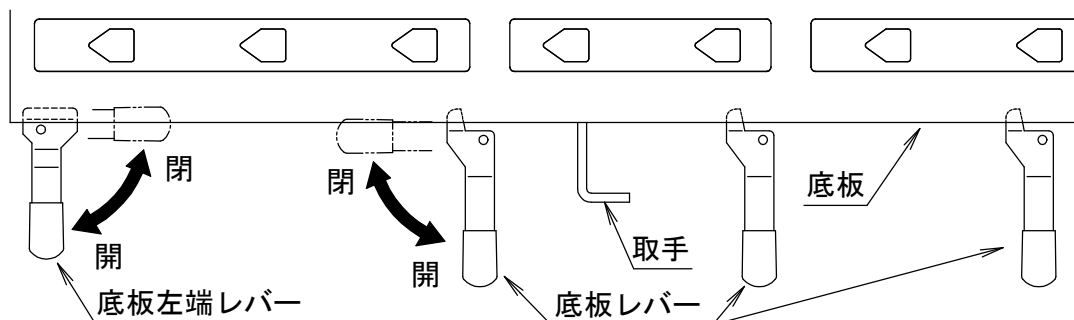


## ■ 底板の開閉方法

(ホッパー内の掃除の時、底板を開けて残量肥料排出ができます。)

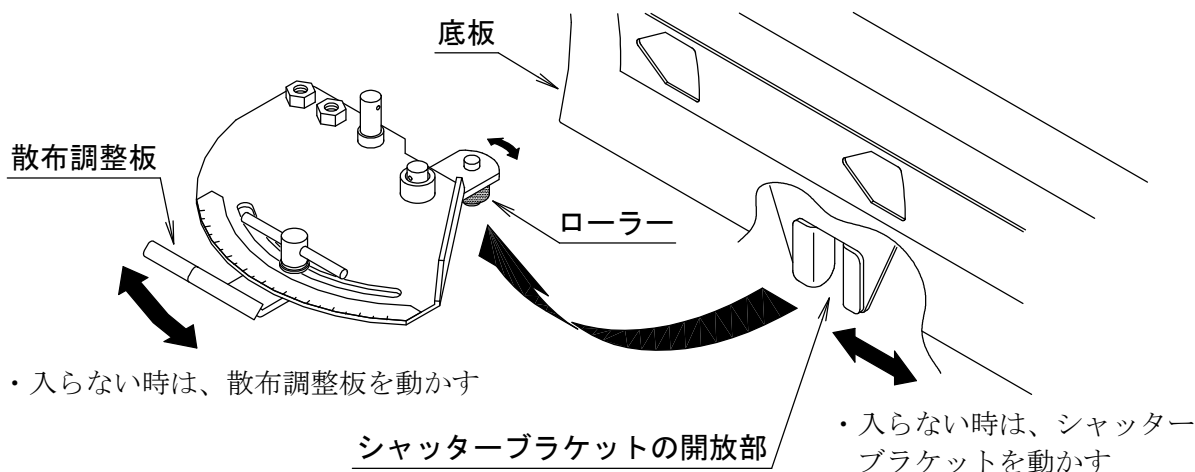
底板は、残量肥料排出や手入れの時以外は開けないで下さい。

- (1) エンジンを停止し、P T OのギアをN (ニュートラル) に入れて下さい。
- (2) スイッチボックスとブレード散布機本体との接続コネクタを抜いて下さい。
- (3) 底板を開ける時は、底板の取手から遠い方のレバーから順に開け、最後のレバーは**必ず、取手を持ちながらゆっくりと底板を開けて下さい。**(底板は一気に全開にならないよう、ワゴムとスプリングフックでフレームにつながっていますので、全開にする時はフレームからスプリングフックを外して下さい。)



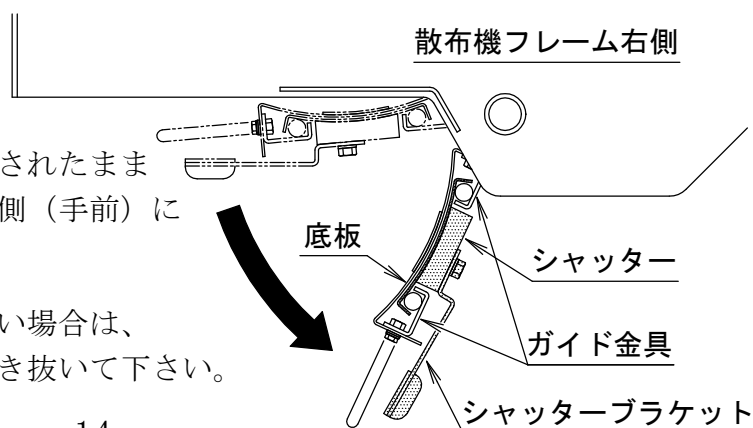
- (4) 底板を閉める時は、ホッパーと底板の間に肥料が挟まらないよう、きれいに肥料を取除いて下さい。  
また底板を持ち上げた時、シャッターブラケットの開放部に散布調整板のローラーが入り込むようにして、取手に近い方のレバーから順に閉めて下さい。(入らない時は、散布調整板を動かしたり、またはシャッターブラケットを手で動かして下さい。)

	レバー本数 (底板左端レバー+底板レバー)
BL-210	5



## ■ シャッターの外し方

- (1) 底板を開けます。
- (2) シャッターブラケットが接続されたままシャッターをゆっくり散布機右側(手前)に引き抜きます。
- (3) きつくてシャッターが抜けない場合は、ガイド金具を少し下げてから引き抜いて下さい。



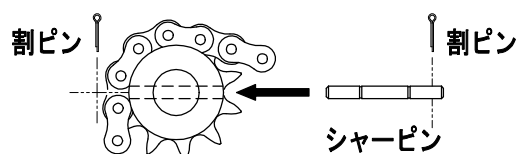
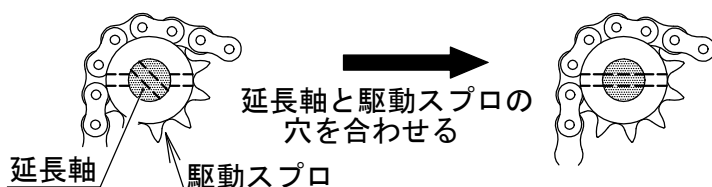
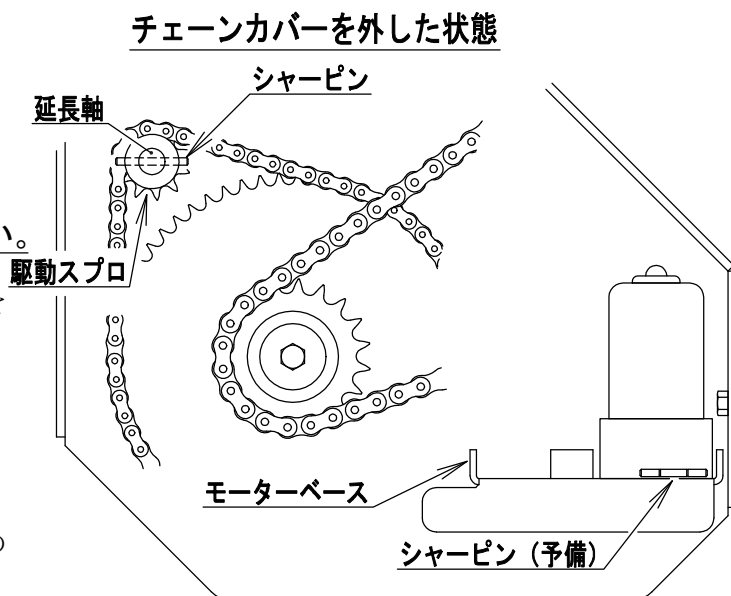
## ■ 底板フェルト交換方法

- (1) シャッターの滑り改善と肥料漏れ防止の為、底板の外側にフェルトが貼ってあります。  
シャッターを閉じて肥料が漏れる場合はホッパー内の肥料を全部出し、シャッターの穴を確認して下さい。
- (2) シャッターの穴が閉じていても肥料が漏れている時は、シャッターを外して底板フェルトが破れていないか確認して下さい。破れている場合は、その箇所のフェルトをきれいにはがして新しいものに貼り替えて下さい。(別売りの底板フェルトをご用意下さい。)

## ■ シャーピン交換手順

シャーピン交換後、異常負荷の原因  
(異物混入や肥料の入れ過ぎ等)を  
取り除いてから作業を再開して下さい。

- (1) エンジンを停止し、PTOのギアをN(ニュートラル)に入れて下さい。
- (2) フレーム左側のチェーンカバーを外して下さい。
- (3) 延長軸先端の穴に棒等を差し込み、延長軸を回して延長軸と駆動スプロの穴を合わせます。

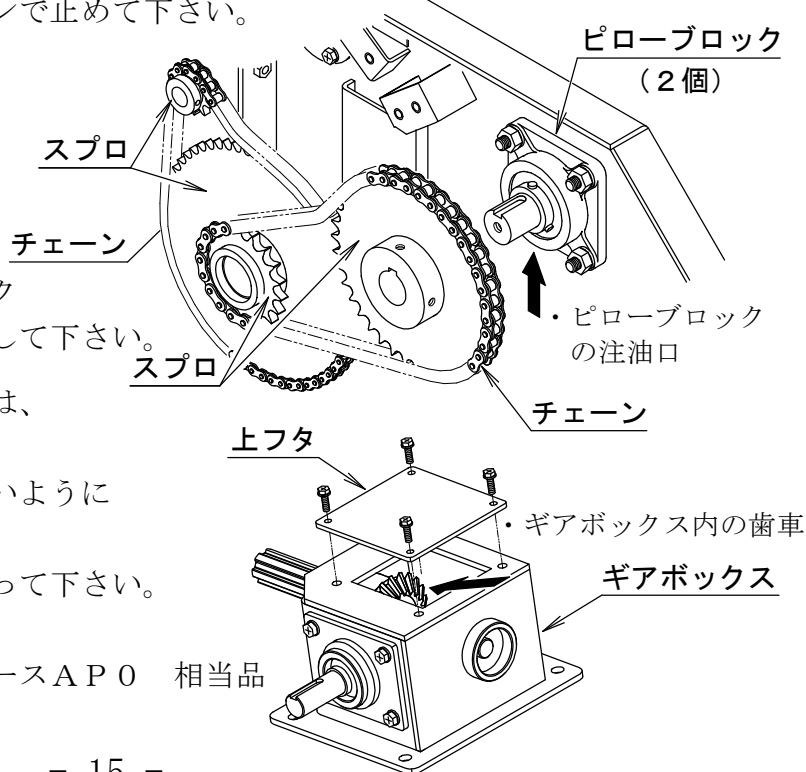


- (4) 延長軸の中に残っているシャーピンの断片を取り除いて下さい。
- (5) 新しいシャーピンを入れて割ピンで止めて下さい。

## ■ 給油箇所

- (1) 円滑な作業をしていく為に、  
年に1回以上、スプロ(4個)  
チェーン(2個)、ピローブロック  
(2個)にグリースを注入・塗布して下さい。
- (2) ギアボックスへのグリース注入は、  
上フタを外して行って下さい。  
また、ゴミやホコリ等が入らないように  
注意して下さい。  
2~3年に1回、歯車全体に塗って下さい。  
推奨グリース：新日本石油

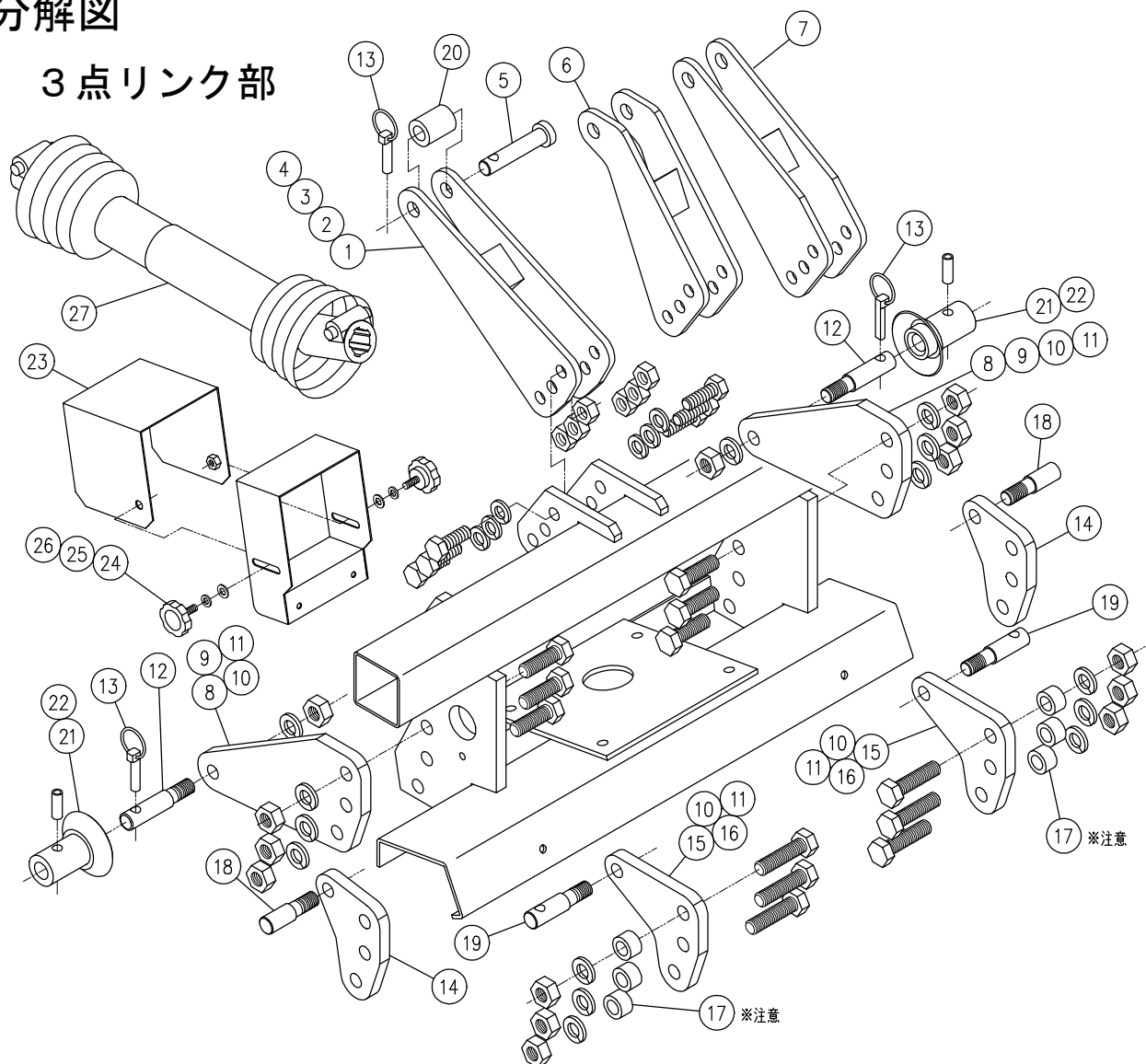
モリノックグリースAP0 相当品





## ■ 分解図

### A. 3点リンク部



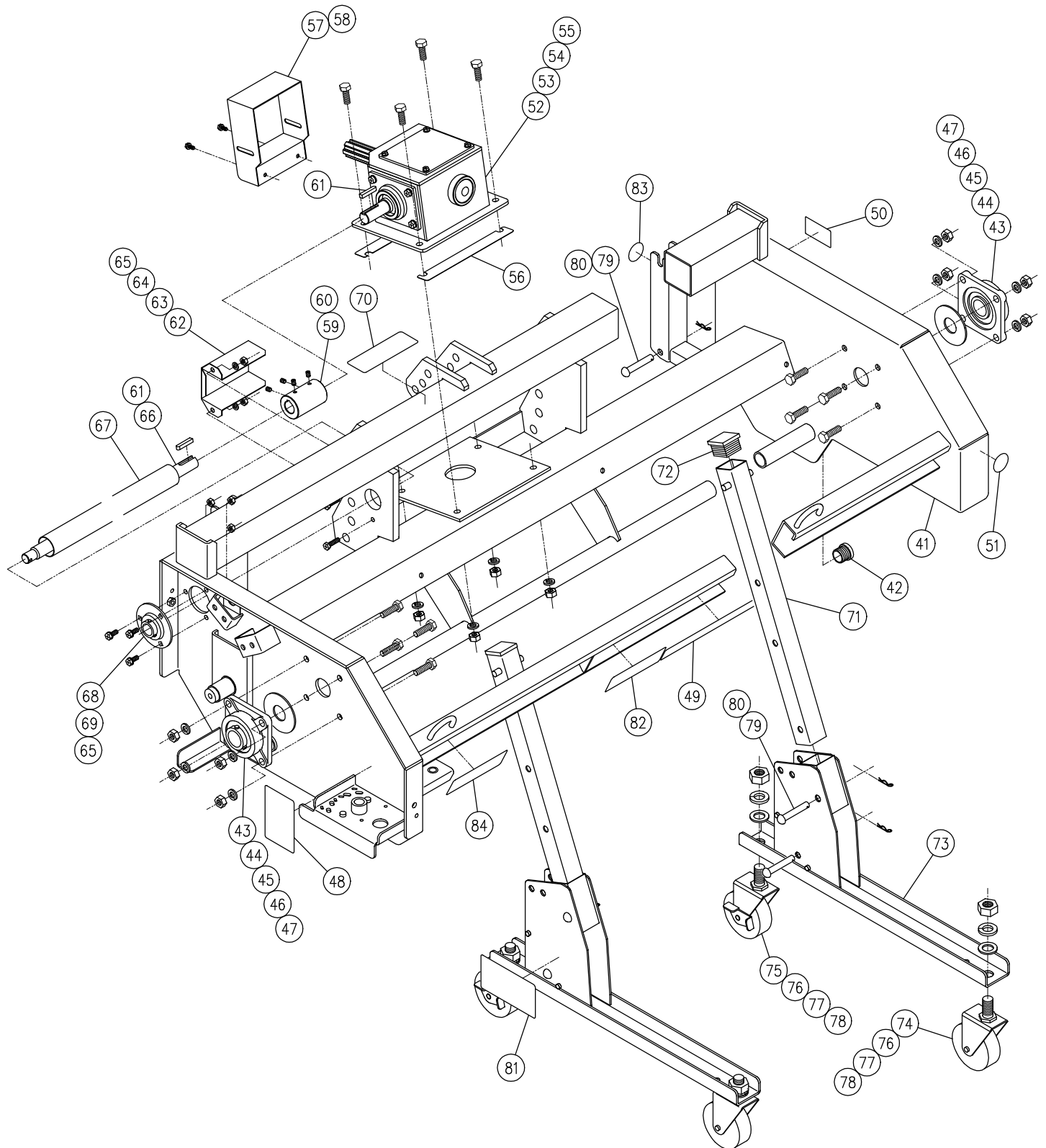
### 部品表（3点リンク部）

No.	部 品 名	数 量					
		OS	1S	A1	A2	B	BM
1	標O型トップ板 (SRB)	1	1	—	—	—	—
2	六角ボルト M16×40 10.9T (細目)	6	6	6	6	6	6
3	ばね座金 M16	6	6	6	6	6	6
4	六角ナット M16 8.8T (細目)	6	6	6	6	6	6
5	トップリンクピン	1	1	1	1	1	1
6	特A1、B型トップ板 (SRB)	—	—	1	—	1	1
7	特A2型トップ板 (SRB)	—	—	—	1	—	—
8	標O型ロアー板 (SRB)	2	2	—	—	—	—
9	六角ボルト M18×55 10.9T (細目)	6	6	—	—	6	6
10	ばね座金 M18	8	8	8	8	8	8
11	六角ナット M18 8.8T (細目)	8	8	8	8	8	8
12	標O：1型ロアーピン (SRB)	2	2	—	—	—	—
13	リンチピン	1	3	3	3	1	1

No.	部 品 名	数 量					
		OS	1S	A1	A2	B	BM
14	特A1、B型ロアー板 (SRB)	—	—	2	—	2	2
15	特A2型ロアー板 (SRB)	—	—	—	2	—	—
16	六角ボルト M18×70 10.9T (細目)	—	—	6	6	—	—
17	特A型ロアーカラー 22mm ※注意	—	—	6	6	—	—
18	特B型ロアーピン (SRB)	—	—	—	—	2	—
19	特A型ロアーピン (SRB)	—	—	2	2	—	2
20	トップリンクカラー	1	—	—	—	—	—
21	ガイドカラー	2	—	—	—	—	—
22	ロールピン	2	—	—	—	—	—
23	延長カバー (ATB)	1	—	—	—	—	—
24	ノブボルト M8×20	2	—	—	—	—	—
25	ばね座金 M8 (SUS)	2	—	—	—	—	—
26	平座金 M8 (SUS)	2	—	—	—	—	—
27	ユニバーサルジョイント L=600	—	1	—	—	—	—

※特A型ロアーカラーは長さが異なる2種類のカラー が同梱されています。本機には、長い方のカラー を御使用ください。オートヒッチですくえなくなります。

## B. フレーム部



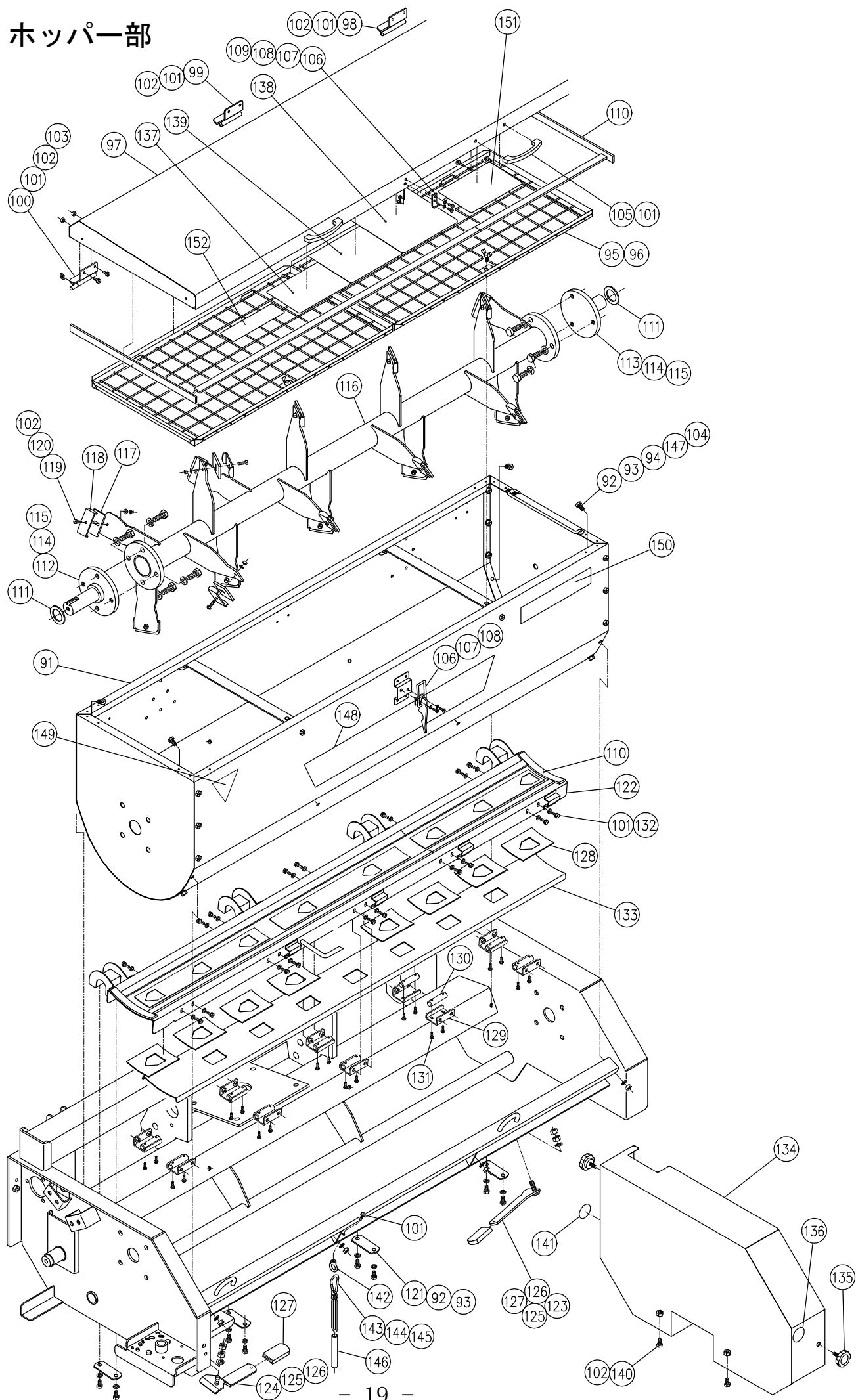
## 部品表（フレーム部）

- ・ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。
- ・フレームは受注生産品です。

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
41	フレーム (BL-210) 受注生産品	1	63	十字穴付き六角ボルト M8×30 (SUS)	2
42	丸中栓 (φ34×t2.3用)	1	64	ばね座金 M8 (SUS)	2
43	ピローブロック (UCF207)	2	65	六角ナット M8 (SUS)	5
44	防塵フェルト (φ85-φ33)	2	66	延長軸 (BL-210)	1
45	六角ボルト M12×40 (SUS)	8	67	軸カバー (BL-210)	1
46	ばね座金 M12 (SUS)	8	68	ピローブロック (SBPF205)	1
47	六角ナット M12 (SUS)	8	69	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×20 (SUS)	3
48	配線図シール (SRB)	1	70	危険シール (No. TE38054)	1
49	底板レバーシール	1	71	スタンド柱 (ATB)	2
50	製造シール (No. TE38196)	1	72	角中栓 (□45×t2.3用)	2
51	蛍光シール (赤)	1	73	スタンドベース (SRB)	2
52	ギアボックスアッシー (DSB用)	1	74	キャスター (SJT-100W) (ストッパー無し)	2
53	六角ボルト M12×35 10T (細目)	4	75	キャスター (SJT-100WS) (ストッパー付き)	2
54	ばね座金 M12	4	76	平座金 M20	4
55	六角ナット M12 8T (細目)	4	77	ばね座金 M20	4
56	シム	※4	78	六角ナット M20	4
57	P I C カバー (ATB)	1	79	丸頭ピン φ12×70	6
58	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15 (SUS)	2	80	Rピン φ12用 B型	6
59	カップリング	1	81	スタンドシール (SRB)	1
60	六角穴付止めねじ M8×10	4	82	底板開閉シール	1
61	キー 8×7×40 (片R)	2	83	蛍光シール (白)	1
62	カップリングカバー (SRB)	1	84	閉め忘れ注意シール	1

※調整用なので、使用する数量は異なることがあります。

## C. ホッパー部

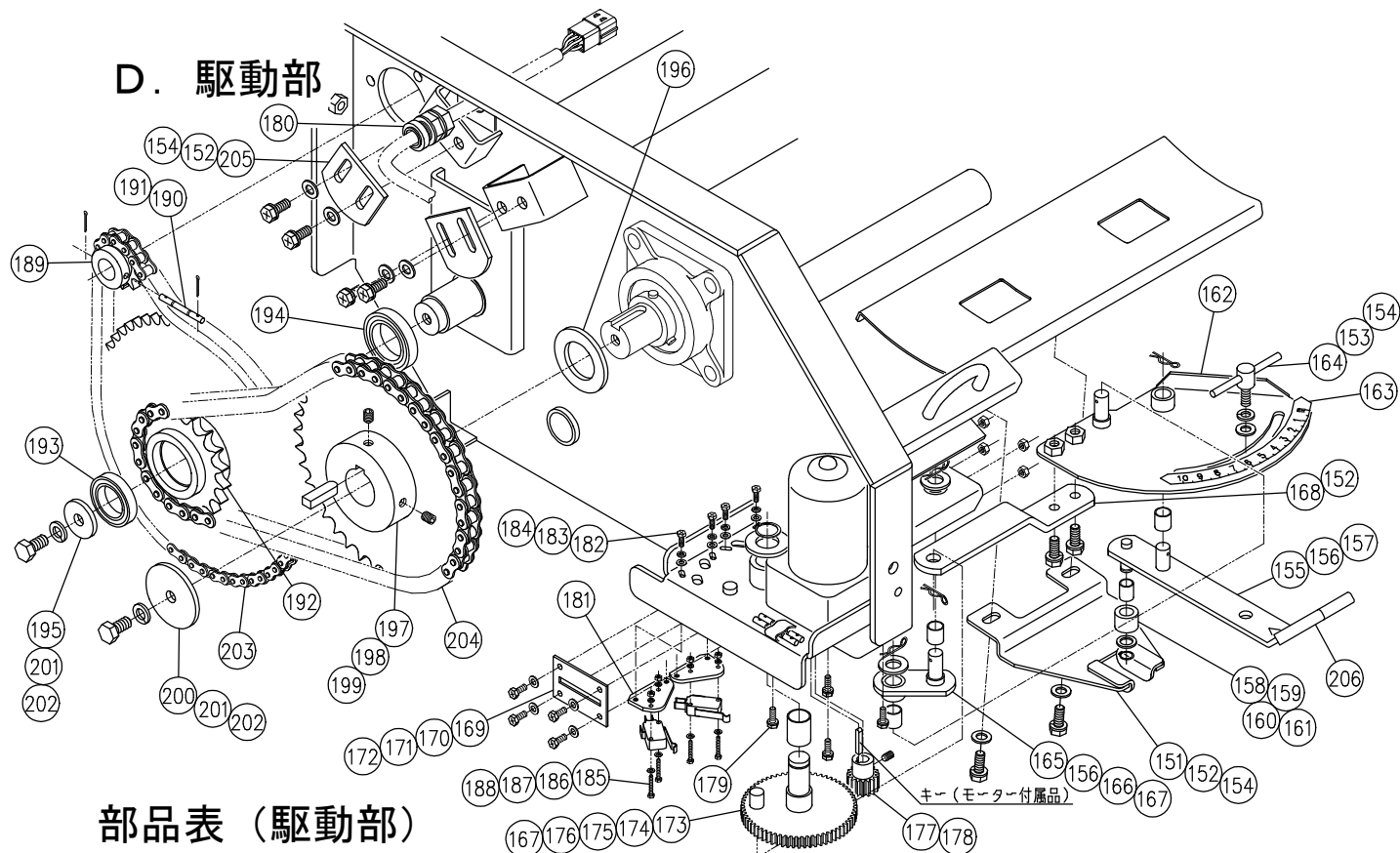


## 部品表（ホッパー部）

- ・ボルト、ナット、ネジ類は汎用品を使用しておりますので、市販品でも代替できます。
- ・混合羽根、ホッパーアッシーは受注生産品です。

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
91	ホッパーアッシー(BL-210) 受注生産品	1	117	ウレタンゴム	16
92	十字穴付き六角ボルト M8×15 (SUS)	32	118	ゴム押さえ (SRB)	16
93	ばね座金 M8 (SUS)	40	119	十字穴付き六角ボルト M6×20 (SUS)	16
94	六角ナット M8 (SUS)	32	120	ばね座金 M6 (SUS)	16
95	ホッパー網(BL-210)	2	121	ヒンジ押さえ板	4
96	ちょうボルト M8×15 (SUS)	2	122	底板 (BL-210)	1
97	蓋(BL-210)	1	123	底板レバー	4
98	蓋ヒンジ右(SRB)	1	124	底板左端レバー	1
99	蓋ヒンジ中(SRB)	1	125	ばね座金 M10 (SUS)	5
100	蓋ヒンジ左	1	126	六角ナット M10 (SUS)	10
101	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×15 (SUS)	31	127	ハンドルニギリ (エメラルドグリーン)	5
102	六角ナット M6 (SUS)	24	128	底板フェルト	8
103	スナップピン(クリップリングタイプ)	1	129	ガイド金具	10
104	平座金 M8	4	130	シャッター受け	10
105	取手 (AP-3-1)	2	131	十字穴付きタッピンねじ M5×16 トラス2種溝付き (SUS)	20
106	キャッチレバー (C-506)	1	132	平座金 M6 (SUS)	20
107	十字穴付き六角ボルト M5×12 (SUS)	4	133	シャッター(BL-210)	1
108	ばね座金 M5 (SUS)	4	134	チェーンカバー(BL)	1
109	六角ナット M5 (SUS)	2	135	ノブボルト M8×20	2
110	エプトシール (5×20×1000)	6	136	蛍光シール (赤)	1
111	防塵フェルト (φ50-φ33)	2	137	シャーピンシール(SRB)	1
112	軸受けフランジ左(ATB)	1	138	目盛表シール(BL)	1
113	軸受けフランジ右(ATB)	1	139	肥料投入量制限シール(SRB)	1
114	六角ボルト M12×30 (SUS)	7	140	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M6×10 (SUS)	2
115	ばね座金 M12 (SUS)	7	141	蛍光シール (白)	1
116	混合羽根(16枚) 受注生産品	1	142	アイナット M6	1
			143	スプリングフック IAH60	1
			144	ワゴム	1
			145	結束バンド AB150-W 黒	1
			146	ビニールチューブ 内径φ12	1
			147	十字穴付き六角ボルト M8×20 (SUS)	8
			148	BLEND SPREADERシール(小)	1
			149	制限標識マークシール	1
			150	速度制限シール	1
			151	警告シール	1
			152	最大積載量210kg以下シール	1

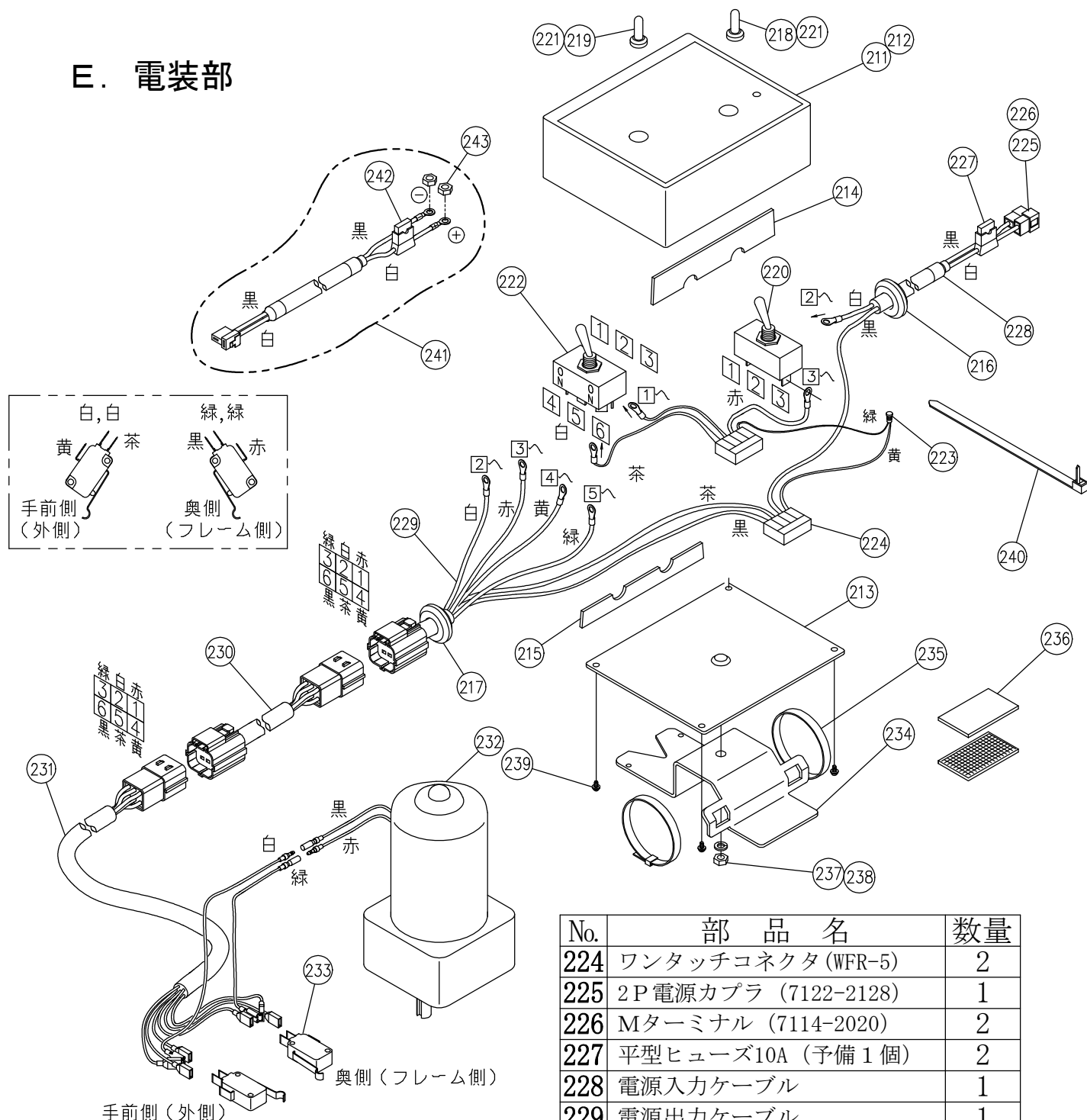
## D. 駆動部



部品表 (駆動部)

No.	部 品 名	数量	No.	部 品 名	数量
151	シャッターブラケット (BL)	1	179	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M5×15 (SUS)	4
152	ばね座金組込み十字穴付き六角ボルト M8×20 (SUS)	8	180	キャプコン (OA-W1611)	1
153	ばね座金 M8 (SUS)	1	181	リミットベース	2
154	平座金 M8 (SUS)	7	182	十字穴付き六角ボルト M4×12 (SUS)	4
155	散布調整板 (SRB)	1	183	ばね座金 M4 (SUS)	4
156	ブッシュ (LFB-1215)	3	184	平座金 M4 (SUS)	4
157	Rピン φ12用	1	185	十字穴付きなべ小ねじ M3×18	4
158	ローラー (φ20)	1	186	平座金 M3	4
159	ブッシュ (LFB-1015)	1	187	ばね座金 M3	4
160	平座金 M10 小形	1	188	六角ナット M3	4
161	C型止め輪 φ10軸用	1	189	駆動スプロ (ATB)	1
162	目盛り板 (SRB)	1	190	シャープピン (φ5 SUS) (予備2個)	3
163	目盛りシール (SRB)	1	191	割ピン φ1.6×12 (予備4個)	6
164	シャッター固定ハンドル	1	192	減速スプロ (ATB)	1
165	サブリンク	1	193	ベアリング (6906LLU)	1
166	平座金 M12	2	194	ベアリング (6907LLU)	1
167	Rピン φ12用 B型	3	195	平座 (φ35-φ11)	1
168	シャッターロッド (SRB)	1	196	平座 (φ60-φ36)	1
169	ゴム板	1	197	混合スプロ (ATB)	1
170	十字穴付き六角ボルト M5×12 (SUS)	4	198	キー 10×8×35 片アール	1
171	平座金 M5 (SUS)	4	199	六角穴付き止めねじ M8×10	2
172	六角ナット M5 (SUS)	4	200	平座 (φ60-φ11)	1
173	シャッターギア (64)	1	201	六角ボルト M10×20	2
174	ブッシュ (LFB-1825)	1	202	ばね座金 M10	2
175	平座金 M18	1	203	チェーン (RS40 68リンク)	1
176	C型止め輪 φ18軸用	1	204	チェーン (RS50 64リンク)	1
177	モーターギア (16)	1	205	テンション (ATB)	2
178	六角穴付き止めねじ M6×6	1	206	ハンドルニギリ (エメラルドグリーン)	1

## E. 電装部



### 部品表 (電装部)

No.	部 品 名	数量
211	スイッチボックス	1
212	スイッチボックスシール	1
213	スイッチボックス裏フタ	1
214	ハーネスホール板 (上)	1
215	ハーネスホール板 (下)	1
216	グロメット (B10-2)	1
217	グロメット (B12-2)	1
218	防水キャップ (AT-402-R)	1
219	防水キャップ (AT-402-K)	1
220	電源スイッチ (S-302T)	1
221	ナイロンワッシャ(黒) 12-20 t0.5	2
222	散布スイッチ (S-332T)	1
223	ランプ (DOH-5FH-G)	1

No.	部 品 名	数量
224	ワンタッチコネクタ (WFR-5)	2
225	2P 電源カプラ (7122-2128)	1
226	Mターミナル (7114-2020)	2
227	平型ヒューズ10A (予備 1 個)	2
228	電源入力ケーブル	1
229	電源出力ケーブル	1
230	電源出力中継ケーブル	1
231	本体ハーネス モーター線付	1
232	ギアードモーター (402T-8B100A)	1
233	リミットスイッチ (V-214-1C6)	2
234	スイッチ取付座	1
235	ステンレスバンド (W2-SX-T9-20)	2
236	マジックテープ	4
237	六角ナット M6	1
238	ばね座金 M6	1
239	十字穴付きタッピンなべねじ M3×8 (SUS) 2種	4
240	リリースタイ (RELK-2R)	10
241	バッテリー電源延長コード	1
242	平型ヒューズ15A (予備 1 個)	2
243	六角ナット M6 3種	2
244	取扱説明書	1

## ■ 使用後の管理

### A. 一日の作業が終わった時

- (1) ホッパー内に残った肥料は、シャッターを全開にして混合羽根を回転させ排出して下さい。  
それでも残った肥料は、トラクタのエンジンを停止し、底板を開けて肥料を排出して下さい。  
(底板の開け方は、14ページの底板の開閉方法の項参照。)
- (2) 混合羽根やシャッターに付着した肥料は取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨、夜露等には十分注意して下さい。

### B. 今期の作業が終わった時

- (1) 底板を開けて肥料を全て排出し、シャッターを外して底板やシャッターに付着した肥料を良く落として下さい。(エアーコンプレッサーを使ったり、水洗いをするとうまく落ちます。)
- (2) 水洗いする場合は、電気部品に水がかからないように注意して下さい。また、水洗い後は良く乾燥させて下さい。乾燥後、ブッシュやP I C軸等の可動部分に潤滑剤を少量噴き掛けておくと錆びにくくなります。(肥料が触れる部分には噴き掛けしないで下さい。)

※肥料等の散布剤は強い酸性を有していますので、清掃は念入りに行ってください。

## ■ 仕様

型 式		B L - 2 1 0					
		0S	1S	A1	A2	B	BM
寸 法 [mm]	全 幅	1 5 1 5					
	奥行き	1035		953	997	953	
	全 高	604		644	636	644	
重 量 [Kg] (スタンド、ジョイント除く)		190		185			
ホッパー容量 [%]		2 1 0					
散布幅 [mm]		1 4 0 0					
適応トラクター		2 0 ～ 5 0 p s					
散布量 [Kg/10a]		けいふん	9 0 ～ 5 3 0		(作業速度 6 [Km/h]時)		
		ペレット	5 0 ～ 8 0 0				
散布肥料種類		粒状化成、有機ペレット、コンポスト、けいふん、 ケイカル、ヨウリン等の乾燥した肥料					
肥料混合動力		トラクタ P T O					
散布量調節		シャッター開度 (手動設定)					
肥料の散布・停止		電動スライドシャッター (手元コントロール)					
シャッター動力		D C 1 2 Vギアードモーター					
シャッター電源		トラクターの電源カプラまたはバッテリー					

装着型式	0 S	1 S	A 1	A 2	B	BM
装着方法	日農工 標準S型 オートヒッチ	標準3 P 手動装着	日農工 特殊A1型 オートヒッチ	日農工 特殊A2型 オートヒッチ	日農工 特殊B型 オートヒッチ	三菱 特殊B型 オートヒッチ

※本仕様は予告無く変更することがあります。

製造元



株式会社 日農工

水戸市元吉田町1027

TEL/029 (247) 5411 ● FAX/029 (248) 2172